

一般質問

セメント跡地の整備 企業誘致の現状



サンライズ秩父 上林 富夫
かみばやし しゅんじ
とみお ともお

問 数億円必要と思われる整備完了はいつごろか。

答 30年度、道の駅ちちぶ入り口から腰田堀を渡り299号までの中央632号線関連の改築工事を実施。31年度に299号からの入り口付近に信号設置や右折レーンなどの工事を予定している。140号陸橋平面化は、県によると30年度に概略設計を行い31年度に詳細設計に進みたいが工事着手は未定とのことである。

問 企業訪問等はどうしているか。優遇策提示はしているか。

答 訪問基準は立地意向調査に回答があった企業や県に寄せられる情報等をもとに年に数社訪問し市の優遇策等の説明をしている。

問 セメント跡地の有害物質状況は現在どうなっているか。

答 土壌汚染対策法による調査を実施。一部の土地で基準を超えるヒ素およびその化合物、フッ素およびその化合物、六価クロムが検出された。30年9月4日土壌汚染対策法により県が一部を汚染区域に指定。今後、必要な措置を行う。

●市民生活の現状

問 市民の所得状況および臨時福祉給付金対象者数は。

答 29年度課税状況調査に基づく総人数2万7188人の内訳は100万円以下1万1727人、100万円～200万円8264人、200万円～300万円3755人、300万円～400万円1733人、400万円～500万円1053人、500万円以上656人。臨時福祉給付金対象者1万2279人の内訳は60歳以下4507人、61歳以上7772人である。



旧セメント跡地

秩父市公共施設等総合管理計画 FMの取組みと今後の展開



清流クラブ 堀口 義正
ほりぐち よしまさ

問 市のファシリテイマネジメントへの取組み実施時期はいつか。

答 23年度総務省の「市町村が有する公共施設及びインフラ資産の将来更新費用の比較分析」調査が行われた結果を経て、24年1月にファシリテイマネジメント方針および基本計画策定時である。

問 今までの主な実績と成果は。

答 高篠・原谷保育所の廃止では、人件費や借地料等の維持管理費のコストを将来にわたり削減、土地の有効活用では、原谷保育所跡地に公民館・温水プール等利用者の駐車スペース34台を確保した。旧大滝中学校の小さな拠点事業は維持費の集中管理や台風の際の避難所開設等、施設利用者の利便性の向上が図れた。花の木住宅解体後の秩父版CCRCの効果予想は、サービス付き高齢者向け住宅の敷地を民間に賃貸し、歳入の増加や地域経済の活性化等を見込む。

問 公共施設の維持管理費の現状と市保有公共施設の老朽化対策は。

答 借地料は年間約1億9千万円。主な公共施設の維持管理費や利用状況等の施設情報を、HP等でお知らせしたい。施設保有量は29年



大滝総合支所
避難所



原谷保育所跡地駐車場

度末現在1332棟。老朽化対策は、建替えや改修が有効手段だが、全施設実施は困難。将来的に存続する施設を限定し、建物は廃止・機能を別の建物に移転統合、または複合化で施設の利活用と総量削減を推進したい。予防保全で施設の長寿命化を進めたい。

問 FMの今後の展開は。

答 個別計画を具体的に検討、管理計画を基にコストを意識した公共施設の改善、改革に取り組み、数や規模に応じ、安心で安全に利用できる公共施設維持を考えたい。

一般質問

市民満足度調査の再開は



かなざき まさゆき
金崎 昌之

問 市民満足度調査の中止には、驚きと残念との市民の声が寄せられている。調査の実施は、市民参画のまちづくりに欠かせないものと考えますが、再開の考えは。

答 毎年度の調査は一旦休止するが、32年度には新たな総合計画を立てるので、その前には今までの以上に充実させた市民意識調査を実施したい。

● まちなか巡回バスの運行を
問 中心市街地でも「バスが無く、買い物等の日常生活に不自由している人が多い」という声を聞く。循環バスについて、2年半前の質問に「検討したい」との答弁がされているが、その検討結果は。

答 市や定住自立圏、県を交えた会議等で検討してきたが、「バス路線の新設には相当費用がかかるので、それに見合った効果も十分に検討する必要がある」との意見があり、引き続き慎重に検討。

● 自助・公助・共助のあり方
問 200人を超える尊い命が失われた西日本豪雨災害では、亡くなられた方の7割が60歳以上の



自助・共助・公助の考え方

「災害弱者」であった。当市においても高齢化が著しく進んでおり、今やほぼ3人に1人が65歳以上の高齢者という実態。こうした状況の下では、防災の基本といわれる自助・共助・公助のあり方も、地域の実態に則した、より効果的なものへと見直すことが必要では。

答 「公助」に限界がある中、自分の身は自分で守る「自助」、地域での助け合いの「共助」が欠かせない。高齢化の進行に伴い、「共助」の割合は高くなる。

歴史・伝統を感じられる市街地の整備



きよの かずひこ
清野 和彦

問 年間を通じて風情を感じられる街並み形成のために、歴史まちづくり法に則った歴史的風致維持向上計画の策定をすべきでは。

答 教育委員会では30年度から3か年で歴史文化基本構想を策定。市内の指定・未指定の文化財を把握し、周辺環境まで含めて総合的に保存・活用するための指針となる。また地域整備部では同時期に都市計画マスタープランを改定。市の将来都市像の実現に向けた指針となる。基本構想及びマスタープランを策定する中で歴史的風致維持向上計画は包括されるのではないかと考える。

● 児童発達支援事業・星の子教室

問 32年度から民間委託する計画の詳細は。また人材や施設について、これからも安心して利用していただくための配慮は。

答 耐震化等の問題から施設の建て替えを検討し、民営化することとなり、プロポーザル方式での選定の結果、秩父市社会福祉事業団が事業者となった。国・県の補助金を活用し、寺尾に高齢者デイサー

ビス、障がい者生活介護、児童発達支援、放課後等デイサービス事業を併設する多機能型福祉施設を建設する予定。星の子教室のスタッフからのヒアリングや県内の最新施設への視察の上で施設の設計等に取り組んでいる。現在の星の子教室のスタッフについては希望があれば勤務条件等の相談は必要だが新たな施設を案内できる方向で調整したい。



秩父の発展を支える街並みを

◎30年度予算編成から導入された
枠配分予算編成
◎市役所・秩父宮記念市民会館・
歴史文化伝承館の駐車場

一般質問

地域猫活動

問 野良猫を減らすために補助金制度の利用実績と取組みは。

答 野良猫対策補助金制度の利用実績は、26年度に創設してからの4年間で延べ140件102万円を交付した。県の補助金制度のモデル地区として認定を受けた番場町地域はボランティアと地域住民が協力し、飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を施し繁殖を抑制し、餌やりのルール化等の適切な管理をする地域猫活動を行い、3年間で25匹の猫に不妊・去勢手術を受けさせた。公衆衛生の向上と動物愛護精神からも、当補助金制度は今後も必要な制度である。

障がい者雇用制度

問 障がい者雇用制度における市内民間企業の雇用達成率は。

答 秩父郡市内の法定雇用率制度に該当する企業における法定雇用率達成状況は70・5%で、埼玉県全体の49・4%を大きく上回り県内で一番高い達成率である。

聖地公園の清掃・管理

問 聖地公園のゴミ箱・水場の改修は。



公明党 本橋 貢
ちとほし みつぎ

答 カラスが集団でゴミ箱を倒して餌をあさるのでゴミ箱の試作品ができる予定。利用者に不都合がないよう予算の範囲内で改善する。水場は43か所ある。経年劣化が進んでいる水場は年次計画で新しい水場を整備できるように検討する。水場のおけ置き場は、2年前より木製から金属製のものに順次取り替えてきた。予算の確保に努め継続して取り組む。



聖地公園の水場

原谷地域住民の

安全対策は

日本共産党秩父市議団

出浦

章恵



問 8月19日のカワウ対策は。

答 秩父漁業組合がカワウによる深刻な被害を受けている。荒川右岸（大野原諏訪地区）に隣接する河川敷内の樹木に営巣しているため秩父猟友会が銃器による駆除を行った。あらかじめ隣接する諏訪・中寺尾・下寺尾町会に回覧文書等でお知らせをし、漁協関係者、猟友会会員、市担当職員が立会い散弾銃で捕獲を行ったが、カワウに命中しなかった銃弾が流れ、諏訪町会内の住宅周辺にも落下した。大きな銃声と流れ弾について電話苦情が秩父警察署と市役所に寄せられ、予定より早く捕獲を終了した。地元町会長と住民を訪問して、けが人や物損など実害が無かった事を確認し、お詫びをした。

オスプレイ飛行で市民の危険は

問 横田基地に日米空軍の特殊作戦機CV22オスプレイ5機が配備される。沖繩に配備の米海兵隊のMV22オスプレイは、28年に名護市沿岸、29年にはオーストラリア沖で墜落している、MV22よりも事故率が高いのが横田基地配備の

CV22。横田に配備されれば基地周辺のみならず、関東一円で低空・夜間飛行が頻繁に行われる。秩父地域でも飛行すれば市民が墜落事故の危険に日常的にさらされる。寄居・皆野町で目撃情報があるが市ではどうか。また、埼玉県では防衛省と北関東防衛局に飛行と安全性や説明を求めている。米軍所沢通信基地へ強く抗議している。市も同様な姿勢をとって欲しいが考えは。

答 市も目撃情報があり、飛行に断固反対する。秩父圏域全体で防衛省に対し意見をあげていく。



名護市の沿岸に墜落したオスプレイ



一般質問

株父ジオグラビティ パーク構想



清流クラブ 江田 徹
えた とおる

問 株父ジオグラビティパーク構想は、株父鉄道三峰口駅周辺エリアの地形を生かして、数々のアクティビティ施設（スカイウォーク、キャニオンスイング、ローラージップ、ジップライン、バンジージャンプ）を整備して、新たな観光拠点として期待される構想であるが、現在の進捗状況は。

答 現在、関連団体による協議会が立ち上がっており、広く意見をとり入れている段階である。今後目標である来春の開業に向けて着実に進めていきたい。

問 周辺地域の方々への説明及び配慮すべき点についてどう考えているか。

答 今回の事業実施にあたり、地域の町会長に、協議会委員に加わっていただき、意見や要望を伺っていただきたい。また、多くのお客様が集まることにより、周辺地域の治安悪化への配慮、通学する子どもたちの安全においても配慮したい。

問 施設が周辺地域に及ぼす経済効果の見込みは。

答 具体的な金額は算定できないが、三峰口駅周辺の店舗での飲食

や土産物の購買、現地までの鉄道やバスの利用の他、広く捉えれば、市内での宿泊、株父地域内での観光につながるかと考えられる。積極的にPRと集客に努めていきたい。



白川橋から見た荒川

- ◎雇用の拡大
- ◎荒川上田野地内の産業廃棄物
- ◎各種申請書等の押印

市民によりそった市政を



日本共産党株父市議団 桜井 均
さくらい ひとし

●災害対応

問 避難所の開設にあたり避難者への対応はどのようなものだったのか。また、防災倉庫の設置位置および備蓄品の管理方法はどうか。

答 避難者を受け入れた場合は避難者カードに記入してもらい、ケガや病気の方、要支援者の方がいる場合は危機管理課に報告することになっている。防災倉庫の位置については学校および教育委員会と調整する。備蓄品は年に1度は確認をしている。

●福祉女性会館の将来

問 地域の方、利用する方から「2年後に取り壊されてしまふ」という声が出ており心配しているが、福祉女性会館将来計画はどうなっているのか、また修繕などの考えはあるのか。

答 ファシリテイマネジメントの観点から判断することになるので機能の移転先等も併せ、32年度に個別施設計画を策定したいと考えている。また、男子トイレの洋式化、雨水排水ドレンによる漏水の修理を30年度に改修する予定。



将来が心配されている福祉女性会館

- ◎危険ブロック塀の集計結果および学校、公共施設等の危険個所の確認
- ◎ブロック塀等への安全対策工事費助成の対応と通学路以外のブロック塀改修工事の助成は
- ◎住宅リフォーム制度の利用件数・交付金額
- ◎インフルエンザ予防接種の助成対象年齢の引き下げ

一般質問

防災（減災）政策

問 全国各地で自然災害が発生している昨今、市が想定する自然災害のポテンシャルは。

答 震災、風水害、雪害を中心に地域防災計画を策定しており、27年度の改定では、豪雪被害、土砂災害への対策を強化している。

問 県が指定を進めている土砂災害警戒区域とは何か。市の指定状況はどのくらいあるのか。

答 土砂災害防止法に基づき、県知事により指定された区域で、土石流229か所、急傾斜地861か所、地滑り22か所の合計1112か所が指定されている。

問 町会ごとに設置されている自主防災組織とは何か。自主防災組織に対する市としての支援策は。

答 「自分達の地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、町会等の単位で自主的に結成する組織で、80町会全てに組織されている。簡易備蓄倉庫や防災活動資機材、防災訓練実施等の補助の他、リーダー養成講座を実施している。

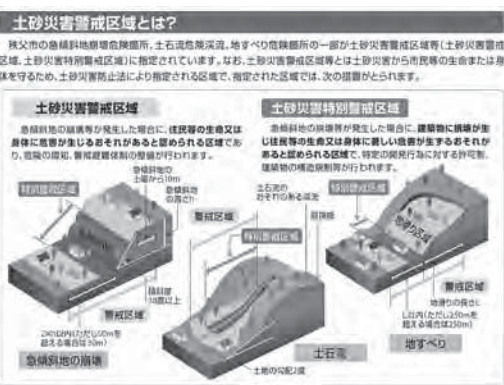
問 避難指示などの情報発信方法とそれらが全市民・世帯にどのくらい認知・普及しているのか。避

清流クラブ
黒澤 秀之
くろさわ ひでゆき



難指示の手順は。避難した後の避難所運営はどのようなものか。

答 安心・安全メールの登録者数は、1万7918名。防災行政無線の戸別受信機貸与数は、4738台。避難指示は、危機管理課より避難に関する状況報告を受け、市長があらゆる手段を用いて市民に迅速に周知している。避難所運営は、一時的であれば、市と施設関係職員が協働して運営。これを超える場合は、自主防災組織と避難者が協働して運営する。



土砂災害警戒区域とは

◎ 防犯政策

他1件

公共施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保



公明党 大久保 進
おおくほ たすすむ

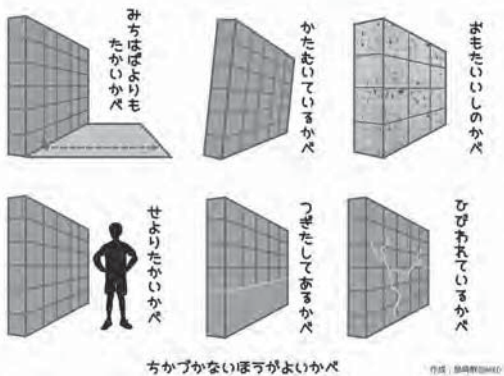
問 学校施設におけるブロック塀等の安全点検等の現状および今後の対策と学校以外の公共施設についての点検は済んでいるか。

答 学校施設におけるブロック塀等の安全点検の状況は、国土交通省の判定基準等に基づき職員による目視での調査の結果、安全性に問題があるブロック塀等は、小学校が13校中10校、中学校が8校中4校あった。通学路におけるブロック塀については、町会の調査結果を情報共有し、注意していく。学校施設以外の公共施設については、それぞれの部局で調査点検を実施した。その結果、ブロック塀を有する施設が27施設あり、そのうち危険が危惧されるブロック塀は、18施設あった。安全性に問題があるブロック塀等に対しては、安全指導および表示により注意喚起などの応急的な安全対策を実施しているが、今後、調査結果等を基に、計画的に改修していく。

認知症の人を対象とした損害賠償保険

問 公費負担の考えは。
答 市では、認知高齢者が徘徊等

により行方不明となった場合、防災行政無線放送や、ちちぶ安心・安全メールの送信、また、GPSの位置情報を活用した徘徊高齢者等探索システムなどにより、徘徊高齢者の早期発見に取り組んでいる。認知症サポーター養成講座や認知症カフェの開催を通して、認知症に対する理解を深め、地域における見守り体制の充実に努め、地域ぐるみで事故等の未然防止を目指していく。公費の損害賠償責任保険導入については、現在事業化する計画はない。



危険なブロック塀の見分け方

一般質問

観光客の交通安全対策



清流クラブ 赤岩 秀文
あかいわ ひろまさ

問 秩父市は都心から近い観光地として国内外を問わず多くの皆さんにお越しいただいている。西武秩父駅と御花畑駅間を往来するには市道幹線51号線を横断する必要があるが横断歩道が遠く車道や踏切内を歩行している。危険と考えるが、市の見解は。

答 駅連絡通路を利用した場合、秩父鉄道踏切の直近または踏切内を横断するため危険が指摘されていた。道路改築工事が完了すれば道路幅員が広がり歩道も確保できるので駅への導線が確保できるようになる。駅への誘導看板の付け替えも鉄道会社も含め関係各所と協議する。

問 観光客の増加にともない観光地付近の道路では歩道をはみ出し観光客が歩行をしている、そこへ地元車と思われる自動車が入り込んでをあまり緩めることなく走行する姿を見かける。また横断歩道上の歩行者妨害やあり運転など、観光客にとって、優しい街とはいえない。おもてなしの心を持ち観光地としての自覚があるなら、市民のみなさんに交通安全の啓もう活動をするべきと考えるが見解は。

答 このような危険な運転行為は、観光地である当市のイメージを損ねるだけではなく、人身事故を起こしかねない。あつてはならないものと認識している。当市にあつては、秩父警察署、小鹿野警察署交通安全母の会、秩父地域交通安全協会などの団体と協力し歩行者優先の啓もう活動をしている。また市職員に対しても交通マナーの徹底を指示している。



指摘されている踏切付近

◎公衆トイレの今後
◎子どもの安心安全

ゆきとどく市政



日本共産党秩父市議団 山中 進
やまなか すずむ

●子どもの貧困対策

問 厚生労働省は「子供の貧困対策に関する大綱」①教育の支援②生活の支援③保護者に対する就労の支援④経済的支援など4つの支援を重視している。子どもの貧困を秩父からなくすために30年度予算における調査の進捗状況は。

答 0才から段階的に中学2年生までを対象とした子どもの生活に関する調査を行い、90%の回収率で集計・分析作業を進めている。

問 「子ども食堂」などの支援にフードバンク等が必要ではないか。

答 すでに生協ちちぶが余った食品を回収し、フードバンク埼玉へ提供するというフードドライブという活動を、市と連携をはかり運営している。

問 今後の施策は。

答 30年度に秩父市子どもの貧困対策調査検討委員会を立ち上げた。調査結果などを踏まえ、具体的な施策について検討を進めていく。

●大滝地域の振興

問 栃本市有林は古くは明治時代に植栽が開始された人工林（スギ、ヒノキ、サワラ、カラマツ）で、

◎国保制度



市有林のある大滝栃本地区

答 9月中旬に報告と説明会を予定している。市民共通の貴重な財産を次世代に引き継ぐため「栃本市有林200年生の森づくり基本方針」を定めた。

最高林齢は100年生である。この栃本市有林は長年にわたり地元住民の方々が大切に育ててきた森林で市民の共有財産である森林を健全な状態で管理し、多様で持続可能な森づくりを行い、地域に貢献する保護価値の高い森林である。市民に丁寧に説明すべきた。